

ふたみ

明石市立二見小学校

2025(令和7)年度

6月号



運動会を振り返って

校長 古川 薫

運動会につきましては、24日の小雨決行、ぬかるみ発生による中断、27日の平日開催など、近年まれに見る課題が多い行事でしたが、皆様に多大なるご理解とご協力を賜り、無事に終えることができました。誠にありがとうございました。皆様から頂いた声援と拍手は子どもたちや職員にとって大きなエネルギーになりました。最後のテントの片付けまでお手伝いくださった方々、ほんとうにありがとうございました。また、プログラム順の入れ替えやPTA演技「地区対抗玉入れ」の中止により、たいへんご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫びいたします。この度は、「ミマモルメール」を通じて予想される事態を事前にお伝えしたり、会場アナウンスを通じて現状の問題点をお伝えしたりしましたので、皆様と困りごとを共有することができ、職員一同大変心強い思いでおりました。余談ですが、メールといい、雨雲レーダーといい、ICTの進化は行事の際にはとてもありがたく、そのおかげで世の中は柔軟で臨機応変な対応が可能になったものだと、平成の時代に運動場を走り回っていた私は妙に感心したりもしています。今後も、児童の安全と心情を第一に優先し、教育実践に取り組んで参りますので、どうぞお力添えくださいますようお願いいたします。

「常時参観」について

本校で実施しております「常時参観」は市内でも珍しく、本校の特色とも言えます。その趣旨は、次の2点です。①保護者の皆様に、自身のお子様の学校での様子をこまめに見ていただき、今後の指導について学校と連携いただくこと。②地域の皆様に全校児童の様子を見ていただき、学校の運営にご協力いただくこと。コロナ禍にすっかり高くなってしまった学校の敷居をなんとか低くして、開かれた学校をつくりたいという、本校の挑戦なのです。

ただし、課題はあります。特に心配なのは、不審者の侵入です。そのため、児童の登校後は正門以外を施錠し、警備員による入校者証の確認を行います。また、入校を来客用玄関に統一し、名簿への記入も義務づけています。さらには、職員による積極的なお声掛けもしております。

児童の安全や教育効果の向上を重視した取組であるため、支障があると本校が判断する行為についてはやめていただくようお願いする場合がありますので、ご了承ください。